



### 「大学のあり方」

平成二十年卒業生 小澤 裕弥

高校を卒業してからの大学一年間はあっという間に過ぎた。この一年間も楽しく過ごしてしまふことだろう。そうすると、大学に入学しないという選択肢は、もう今年の申請に間に合わない。三、四年生の先輩は就職で大変そうだった。その事が、僕にも届いてくると思うと実に憂鬱だ。

実際、関係あるのかはわからないが、僕の場合は就職に不利だと言われる人文学の、その中でも特に文系に立派なと言われる哲学を専攻している。不安がないとは言えない。しかし、大学と就職の関係については、何かおかしさはないか。大学のうちに就職活動を行い、そのことに多くの時間を費やされるようになるのは望ではないか。大学は就職のための準備校ではない。だが、大学に対する多くの大学生や一校の認識は、ほとんど就職活動を前提としたものだ。もちろん就職活動をすること自体が悪いことではない。大学は教育機関である以上、就職活動を望む学生に就職の情報を提供し、支援するのは当然だろう。

だが、それだけが目的化してしまふのは明らかに変だ。大学の一番最初の起源から言えば、大学は時代の支配的な流れに抵抗し、純粋に学問を追求する場として学生や教師の組合的な集まりから生じたといえる。大学は基本的に民間と異質な場だ。企業や就職に有益かどうかで学問が取捨選択されてはならない。大学とは、何ものにも屈しない無条件的な場であるべきなのだ。だからその大学が、資本主義的な理論に飲み込まれている状況は変えられねばならないだろう。

今の日本の大学には多くの問題があるが、学生の状況を考えるには、学生自身が大学の在り方について、何をすべきかと考えながら残りの学生生活を送っていかないとと思う。たぶん就職はするけれども、

### 「大人の修学旅行」のススメ

第二期生 堀口ほづみ

同窓会員のみなさん、一年間のご無沙汰でした。去年はここで久しぶりに転動をしたお話をしました。そこでも書いたとおり、この一年さまさまな再会や別荘にテンションが上がってばなしでした。テンションが高いと彼れを感じるセンサーは鈍るものです。

さて、今回のテーマは「大人の修学旅行」のススメです。みなさんは、高校の修学旅行をおぼえていますか？

私たち二期生の修学旅行は、高校二年の十一月、伊勢・志摩に二泊、奈良に一日、京都に二泊の計四泊五日という日程でした。当時「大人になった」と、内輪で修学旅行、ってことで、また来た、おぼえていた人はいるかな。きっと、みんな修学旅行特有のハイテンションでそんなことを口走っていただけかもしれない。でも私はまだ心にそう思い残っています。

どこかで、私が現在置

### 高崎東高校での教育実習を終えて

城田 浩平



本陣寺まで足をのぼし、鴨川の河岸も歩きました。二十三年前にタイムスリップしたように、リフレッシュ休暇を取ったの修学旅行は期待以上に効果的でした。あれから半年、すっかりリフレッシュが再び習慣し始めました。そろそろまた（今度は自主的に）リフレッシュ休暇を取る必要が出てきたようです。今度は何をしよう。アイデア、同行者、募集中心！

取り組みの様子は、良い方向に変化、進展していると強く感じました。私が生徒会本部役員をしていた頃、生徒会の中から少しずつ新しい活動を始めていました。現在の生徒たちは、それらを引き継ぎながらも更に新しい展開や、新たな活動に取り組んでいる様子でした。そんな先輩たちを横目で見て、とてもありがたく、頼もしく感じました。

教育実習中はもちろん辛いことや大変なこともありました。今振り返ると楽しんで実習を終

止られたと思います。実習生仲間が同窓生だったこともあり、教師の働きを越えてお互いに助け合っている実習が由来でした。また、先生方ももろもろな指導やアドバイスを、支援をいただきました。支えられました。自分自身が高崎の生徒だった時に、関わっていた先生方から、授業者に対するアドバイスや指導をいただくことに、何だか少し不思議な気持ちにもなりました。しかし、その分生徒だった頃には見えなかった教師という仕事の一面も見えたような気がしました。

実習生として初めて現場に立つて思い知ることもや、改めて気付かされる大変さなど、様々な体験をさせていただきました。大学で教育について学んでいたとしても、現場を見てみないと分からないことや気づかれないことが沢山あるのだということが実感しました。生徒たちからも様々なことを教えてもらったような気がしました。「生徒であった経験」ということについて話してきた教育実習でした。ありがとうございました。

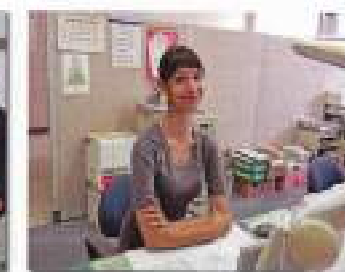
### 学校の様子



授業風景 (国語) |



高崎市役所展示 (保健委員会) / パネル展で！



A.L.T チェルシー・リード女士！



PTA 奉仕活動 (校内清掃) |



PTA 総会時の校庭駐車風景 (社説) |



花のある生活で測いを！ (華道部)

## 校 歌

作詞 下 牧 子  
作曲 下 牧 子

春まだ浅く 緑の芽は  
地平南青に 芽吹くとき  
ここ井野川の ほとりには  
はなを綴らす 風の吹く  
春林三年 風が吹く  
ああ我が母校 高崎東高校

古墳の群れに 影深し  
三名山を 見れば  
料紙の沃野に 咲きわたる  
文化をにぎる 心のあり  
春秋三年 風が吹く  
ああ我が母校 高崎東高校

鏡う日もあれ 木たまたみに  
笑う日もあれ 今咲き  
群の校樹 めぐり  
心は遠く 天が  
春秋三年 とことん  
ああ我が母校 高崎東高校

## 進路状況

平成23年3月卒業生進路状況(延べ人数)

## 卒業生進路状況の推移

	国公立	私立	短大	専修・各種	就職	進学努力継続	その他	合計
H22	12 8.3%	93 48.7%	14 7.3%	56 29.3%	2 1.0%	12 6.3%	2 1.0%	191 100%
H21	7 3.6%	86 44.6%	18 9.3%	49 25.4%	7 3.6%	22 11.4%	4 2.1%	193 100%
H20	8 4.2%	96 50.5%	21 11.1%	47 24.7%	10 5.3%	7 3.7%	1 0.5%	190 100%

## ●国公立大学

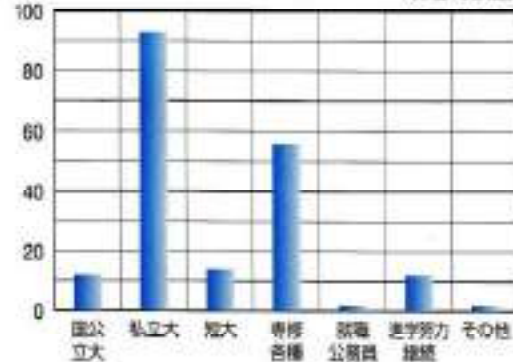
群馬大、弘前大  
群馬県立女子大、群馬県立保健医療科学大  
高崎経済大、前橋工科大

## ●私立大学

麻布大、亜細亜大、跡見学園女子大、神奈川大  
金沢工業大、関東学院大、共愛学園前橋国際大  
京成経大、群馬医療福祉大、群馬バス大  
工学院大、国際医療福祉大、駒澤大、埼玉医科大  
埼玉工大、実践女子大、芝浦工大  
十文字学園女子大、城西大、上武大、駿河台大  
聖学院大、専修大、大正大、大東文化大  
高崎健康福祉大、高崎商科大、拓殖大、帝京大  
帝京平成大、東海大、東京工科大、東京工芸大  
東京国際大、東京造形大、東京電機大  
東京都市大、東京福祉大、東洋大、法政大、  
日本大、日本工業大、日本薬科大、日経大、立教大  
平成国際大、武蔵野大、立正大、龍谷大

平成22年度進路先

(単位: 実人数)



## 平成22年度 卒業生進路結果について

## ●国公立大学

今回大きく合格者を伸ばした。一般入試合格は2名だが、高校生の推薦はセンター利用の推薦なので、一般入試合格に匹敵するものである。新卒は推薦入試、前期入試、後期入試と最後まで頑張って合格を勝ち取った者が1名。また特大、高経大等では、東日本関東震災のために、後期入試は中止となり、センター試験の成績だけで合否を決めることとなった。最後まで挑戦した者が合格している。

## ●私立大学

残念ながら、MARCHレベルの大学に合格していない。日大、東洋大、駒澤大、大東文化大等である。県内志向が強まり、実力があっても県内の大学を選ぶ者もいた。

## ●専門学校

看護系で注目されるのは、かつての国立高崎病院付属看護専門学校(現、高崎総合医療センター付属看護専門学校)に一般入試で4名合格していることである。指定校推薦も入れると5名となる。一般入試では最も難しいというイメージがあったが、四大の看護学科が増えたのに伴い、志願者レベルに変化があるようだ。専修各種学校の中で看護系進学だけで9名を占める。

## ●就職

嬉しいの一言である。当初5名就職希望だったが、内定は2名のみ。他の専門学校に転向した。内定者も3回受験しての合格である。これもあきらめないことが大切である。

## 部活動の様子

## ◆新体操部女子体操競技

6月11日に行われた群馬県選手権大会の表彰状です。結果、インターハイに出場することになったので、群馬県の代表として、一生懸命頑張ってきたと思います。



## ◆新体操部

6月25日 インターハイ県予選

団 体: 準優勝

観 人: 1の4 大澤日奈子 ボール 1位

クラブ 1位

総合優勝

青森インターハイ出場



昨年度、早々に新体操フロアマットを30周年記念事業の一環として同窓会より寄贈していただき、部員一同インターハイ目指して頑張ってきましたが、惜しくも個人だけが切符を手にすることができませんでした。ご期待にそえるよう部員一同頑張る所存でありますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## ◆男子ソフトボール部

2年ぶりの関東大会に出場することができました。対戦相手は強豪の千葉敬愛高校でした。守りでは毎回ランナーを背負う苦しい展開でしたが、ピンチをしのいで失点を最小限に抑えました。攻撃面では好機にあと1本が出ず、チャンスを活かせませんでした。結果0-4でしたが強豪相手に決してひるむことなく戦い抜きました。

来年は関東大会はもちろん全国大会に出場できるように日々努力していきたいと思っています。



### 開校記念講演会のお知らせ

開校記念日 10月12日(水)  
 開校記念式典 // 13時30分～ 於:本校体育館  
 開校記念講演会 // 14時～15時30分 於: //



講 師:久保田 祐子 (有) イマージュ取締役 元JAL国際線スチュワーデス  
 演 題:「社会人基礎力、マナーと話し方」(要綱、詳細未定)

### 平成 23 年度同窓会総会及び懇親会開催のお知らせ

平成 23 年度同窓会総会及び懇親会を、下記の要項にて開催したいと思いますので、万障繰り合わせの上、御出席下さいますようお願い申し上げます。

なお出欠につきましては、同封のはがきにて9月9日までに返信下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成23年10月9日(日)  
 総会 17:00～ 懇親会 18:00～  
 場 所 ホテルメトロポリタン高崎6階  
 TEL 027-325-3311  
 会費 3,000円(当日受付にてお願いいたします)

なお、懇親会と同時刻、同会場にて「同窓会」も合わせて企画しております。対象期の方は特別にお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

同窓会対象期  
 23,4期(昭和62年度～平成元年度卒)  
 12,13,14期(平成9年度～平成11年度卒)  
 22,23,24期(平成19年度～平成21年度卒)

※返信用はがきの卒業年につきましては、集約の都合上、正確にご記入くださいますようお願い申し上げます。(平成22年度卒業生は、平成23年3月卒業です)

### 同窓会事務局に、在学当時の資料、写真をお寄せください。

事務局ではたまたま、同様の同窓会活動のために、同窓会員の皆様から在学当時の資料や写真を収集しています。コピーで結構ですので高崎東高校同窓会事務局まで、メール添付、ファックス、郵送のいずれかでお送りください。

宛先 群馬県立高崎東高等学校  
 〒370-0014 高崎市元島名町1510  
 TEL: 027-352-1251/FAX: 027-353-0994 (※外部同窓会係)  
 E-mail: sakae-nakayama@staff.gsn.ed.jp (中山 栄)  
 ホームページ: http://www.takahi-hs.ed.jp

### 編集後記

同窓会誌「青翔」第十一号の編集を何とか終わることができ、大変嬉しく思っています。これから委員の皆様にも喜んでもらえるように頑張ろうと思っております。取組をお寄せ頂いた方々、本当にありがとうございます。(同窓会係)

### ホームページをリニューアルしました!

母校の現在の様子を随時アップしています。



(通字 河部伸之会長)

### 部活動活動状況

#### 第47回 県高校総体成

男子バレーボール	1回戦	● 0-2 赤工
女子バレーボール	1回戦	○ 2-0 新島
男子バスケットボール	2回戦	● 0-2 前南
女子バスケットボール	1回戦	○ 80-63 県立伊勢崎
	2回戦	● 48-102 前南
	3回戦	○ 61-35 前南
	3回戦	○ 92-27 利根高
	3回戦	● 58-129 太文 (ベスト16)
男子テニス	団体1回戦	● 1-2 前工
女子テニス	団体1回戦	● 0-3 伊高
男子ソフトボール	準々決勝	○ 9-0 太東
	決勝	○ 10-0 前南
	決勝	● 0-11 新島 (準優勝)
女子ソフトボール	1回戦	● 5-6 前南
男子ハンドボール	1回戦	● 18-31 県立伊勢崎
女子ハンドボール	1回戦	● 9-43 富永
男子剣道	団体1回戦	● 0-4 奥津
女子剣道	団体1回戦	● 0-3 高太附
新体操	団体総合	第2位 大津日奈子 (クラブ、第1位 ボール、第2位)
	個人総合	第1位 関口 未来
		第2位 梅澤 花蓮
女子体操	種目別	第1位 関口 第2位 梅沢
	跳馬	第1位 関口 第2位 梅沢
	段違い平行棒	第1位 梅沢 第2位 関口
	平均台	第1位 梅沢 第2位 関口
	ゆか	第1位 梅沢 第2位 関口
男子卓球	団体1回戦	○ 3-1 富永
	2回戦	○ 3-1 桐蔭
	3回戦	● 1-3 桐生 (ベスト16)
女子卓球	団体2回戦	○ 3-2 太文
	3回戦	● 0-3 伊高 (ベスト16)
	シングルス5回戦	新井 (ベスト32)
サッカー部	1回戦	● 0-5 太東
空手部	団体選手	● 0-4 高崎
陸上部	七種競技	第6位 渡瀬 裕加利

硬式野球春季大会	2回戦	○ 6-2 大里々
	3回戦	● 0-7 岩根

#### 文化部

本校の文化部は、生徒たちの個性が作品やパフォーマンス、演奏に発揮されていて、青年期の人間形成・情操を養う場として重要な役割を担っています。それぞれの部が今後の大会や発表に向けて一丸となって自己実現と母校の名譽のために日々の活動に励んでいます。

以下に各部の活動状況を添えいたします。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

- 文芸部** 7月の群馬県高校生文学賞、8月の関東高校生文学賞大会に向けて作品を創作・制作しています。
- 演劇研究部** 8月のまんが甲子園大会に群馬県から唯一の出場校となりました。10月の高校芸術祭出品に向けて作品を制作しています。
- 美術部** 8月の西毛地区コンテストに向けて初選を出し合い、練習を重ねています。
- JRC部** 学校内外で募金活動・ボランティア活動に取り組んでいます。ハンドベルの演奏も上達しました。
- 華道部** 毎週水曜日の放課後に活動しています。校内を生け花で彩っています。
- 茶道部** 毎週水曜日の放課後に活動しています。お手前と茶道の礼儀作法を習っています。
- 合唱部** 7月31日の県コンクール、9月の校内ミニコンサートに向けて練習に励んでいます。
- 吹奏楽部** 定期演奏会のご来場ありがとうございました。校内式典の校歌伴奏、硬式野球部の公式戦応援、7月31日の県コンクールに向けて練習に励んでいます。(詳しくは本校のホームページをご覧ください)

